

(様式4)

令和4年度「静岡県オリパラレガシー教育推進事業」

事業実施報告書

学校名 裾野市立向田小学校

担当者名 山本 直道

<コース>

A クラブチーム選手及びスタッフ指導者派遣

B オリンピアン・パラリンピアン等講演会及び交流会

1 選択コース	①・B
2 実施日	令和4年10月4日
3 実施対象者 (学年・人数 等)	4年生 (19人)、5年生 (17人)、6年生 (21人)
4 取組内容	バレーボール東レアローズスタッフ派遣 ・立ち幅跳び ・反復横跳び
5 取組成果 課題 反省等	◎どちらの種目も子供たちに分かるように言葉をかみくだき、段階を踏んだ指導をしてくださったため、短い時間の中でも手応え、成果を感じられる児童がとても多かった。運動の得手不得手に関わらず、記録の伸びを感じられた。 ◎元日本代表のバレーボール選手が来てくださったため、最後に質疑応答の時間を設けた。スポーツに取り組む姿勢についても丁寧に教えてくださった。 ▲初めてオリパラレガシー教育推進事業に参加したため、授業の組み立てが難しい部分があった。また、簡単にしか授業の流れの確認ができておらず、不安な部分があった。 ▲記録は伸びた子が多かったが、体力向上に繋がったかというときっかけにはななかったが、向上というところまではいかなかったと感じる。
7 県教委への 要望や意見	新体力テストや体力アップコンテストという縛りがなくても、本物にふれる機会だけでも非常に意義を感じられた。本校はソフトバレーボールを既習していたこともあり、バレーボール選手が来てくださるということだけで、とても楽しみにしていた。 例えば、授業の中にプロを呼んで指導を仰ぐことができればさらに子供たちにとっては大きな経験になると感じた。
8 事後アンケート	以下の問いについて該当するものに○ (1) 児童生徒のスポーツへの興味・関心が高まったと感じる 大いに感じる ○ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない (2) 児童生徒の体力が高まったと感じる 大いに感じる ・ 感じる ○ ・ あまり感じない ・ 全く感じない (3) 来年度もこの事業を活用したいと感じる 大いに感じる ○ 感じる ・ あまり感じない ・ 全く感じない